第２回審議会での主な意見と対応について　　【資料1】

#	ご意見	事務局回答
1	10年後（2036年）のありたい姿として、人口29,000人台の維持を掲げているが、具体的な施策が見えてこない。例えば仙台までの快速電車を整備するなど、目標達成に向けた思い切った政策をセットで考えて欲しい。	人口減少への対策は総合的な取組が必要であることから、基本構想で示した２つの方向性「若者・女性に選ばれるまち」「人口減少・高齢化社会においても持続可能なまち」を重視し、総合的に取り組んでまいります。
2	10年後（2036年）のありたい姿として、合計特殊出生率1.43の達成とあるが、目標が高すぎるのではないか。もっと地に足のついた計画とすべきでは。	現状の延長線上で現実的な計画を立てると（フォアキャスティング思考）、発想が制限されてしまう弊害が考えられます。本計画では、敢えて「ありたい姿」から逆算するバックキャスト思考を採用することで、課題を明確にし、取り組むべき方向性を可視化するアプローチを取っています。
3	合計特殊出生率など、一般の人にも分かるような用語解説をつけるべき。	一般公開用の冊子を作成する際には、資料として用語の説明を掲載します。
4	基本構想としては良いと思うが、「じゃあ具体的に何をするのか・どうやるのか」というところが大事。	基本計画において、もう1段階詳細化した内容に落とし込みます。なお、具体的な事業計画は、毎年度更新する重点施策実行計画にて定めることにしております。基本計画の記載内容は、5年間を見据えた「取組の方針」に留まることをご承知おきください。
5	ワークショップで出された市民の個々の意見が、集約によって消えてしまうことがないように、個々の意見に立ち返る機会を設けて欲しい。	ワークショップの詳細な結果や、市民アンケート結果は、庁内で共有し、政策立案の際に一人ひとりの個別の意見まで確認できるように活用を図ります。
6	成長とか投資する分野を絞った方が良いと思う。特に力を入れる分野を明確にして、人材や財源を重点的に投入する方がいいのではないかと思う。	基本構想の中に、この10年間で重視する方向性を示しておりますが、より詳細に「選択と集中」を行うため、毎年度見直しする重点施策実行計画の中で、具体的に注力する施策を定めてまいります。
7	現在は核家族化が進み、自分の家庭を守るだけで精一杯、両親・高齢者を敬う教育・ご先祖様を大切にする教育などがおろそかになっていると感じる。さらに、地域全体で子どもを育てる環境を取り戻す必要がある。	ご意見をいただいた内容については、基本計画「1-4 共生のまちづくり」「1-4-2　地域全体で子育てを応援するまちづくり」に記載した内容に基づき推進してまいります。
8	相馬市に戻って仕事をするには、どういう産業・分野が強いのか（あるのか）地元企業の強みや魅力を若い世代や学生に届ける情報発信や周知が必要だと思う。	ご意見をいただいた内容については、基本計画「4-7 雇用環境・人材還流」「4-7-1　誘致企業の雇用創出と若者の地元定着の推進、4-7-4　選ばれる地域に向けた働き方改革の推進、4-7-5　市内事業所のPR推進」に記載した内容に基づき推進してまいります。
9	地域産業を支える人材の定着に関して、福島県と言っても広いので、「相馬市にはこういう特徴がありますというのをもっと掘り下げても良い」と思う。また逆に、学生の皆さんがどんなこと考えているか教えていただきたい。	
10	企業内で多角的な事業や働き方が選べる魅力的な労働環境づくりできれば、若者に選ばれる企業になれるのではないかと思う。	

第２回審議会での主な意見と対応について　　【資料1】

#	ご意見	事務局回答
11	『教育と文化のまち』ととあるが、文化だけではなく『科学』を入れても良いところまで相馬は来ていると思う。長年「相馬市子ども科学フェスティバル」が続いている強みを認識して、注目して欲しい。	「教育と文化と科学のまち」としてはどうか、というご意見について、趣旨は承知しましたが、「科学」という言葉に対応する施策が「教育」「文化」に比べて大幅に少ないことから、全体のバランスを考慮し、採用は見送らせていただきたいと考えています。 地元企業の多大な協力により、科学に触れ合う環境が醸成されており、きちんと取り上げるべきというご意見については、「相馬市子ども科学フェスティバル」を基本計画「3-1 生涯学習」「3-1-5　地域教育力の向上を目指した学習機会の拡充と情報の発信」及び、「3-4 学校教育」「3-4-5 『郷土に学び、未来を拓く』 ふるさと・キャリア教育の推進」に記載し、取り上げております。
12	地元の産業や報徳の教えについて、学校教育の中でしっかり取り上げていくことが重要。	ご意見をいただいた内容については、基本計画「3-4 学校教育」「3-4-5 『郷土に学び、未来を拓く』 ふるさと・キャリア教育の推進」に記載した内容に基づき推進してまいります。
13	専門学校でラッピングの講師をしており、教室も開いている。中学生にもそういった体験に来て欲しい。キャリア教育を早い段階でできたら良い。	中学生に対するキャリア教育については、基本計画「3-4 教育」「3-4-5 『郷土に学び、未来を拓く』 ふるさと・キャリア教育の推進」の中で、企業等による出前講座や出張実験教室、各種体験活動など、様々なキャリア教育を推進していく方針としています。
14	年代を超えて楽しめる「生涯スポーツ」という観点も入れて欲しい。	基本計画「3-3 スポーツ」の中で、生涯スポーツについて触れています。
15	各スポーツ施設のメンテナンスを強化して欲しい。 また、サッカー場・パークゴルフ場など、スポーツツーリズム繋がる施設を継続的に管理運営して欲しい。 また、中学校の運動部活動の地域移行について、市としての指針を早く示して欲しい。指導者確保に向け、必要経費に対する市としての助成金交付などの検討も必要。	ご意見をいただいた内容については、基本計画「3-3 スポーツ」「3-3-3　スポーツ施設の維持管理、3-3-2　スポーツ観光の推進、3-3-1　スポーツ・レクリエーション活動の振興」に記載した内容に基づき推進してまいります。
16	スポーツ施設の維持管理が今後困難となることが想定される。例えば相馬市と新地町が双方の施設を管理するための新たな一部事務組合を作るなど、柔軟性のある考え方をしてはどうか。	ご意見をいただいた内容については、基本計画「5-3 多様な連携の推進」に記載した内容に基づき、総合的に推進してまいります。

第２回審議会での主な意見と対応について　　【資料1】

#	ご意見	事務局回答
17	【後日提出された意見】 施策の主要テーマ、施策項目につきましては、的確適正であると思います。P.11（１）の説明書きの中にある「包括的かつ細やかな支援体制の確立を図ります。」との文言を踏まえ、高齢・障がい・子ども・生活困窮といった従来の縦割り、分野別での支援体制では対応しきれない、複雑化・複合化した課題に対応するための包括的な支援を一体的に実施する仕組みづくりをお願いしたいと思います。 一体的実施（重層的支援体制整備事業）	ご意見をいただいた内容については、基本計画「1-4 共生のまちづくり」「1-4-1 包括的な支援体制の整備」に記載した内容に基づき推進してまいります。
18	【後日提出された意見】 地域の方からの話が１件ありました。 物価高騰により、ガソリン代を考えると自転車で街中を歩きたい。しかし、自転車専用道路もあまりなく、段差により危険。もう少し自転車で歩きやすくして欲しいという意見。せめて分かりやすく表示されていると良いのだが・・・ 今回の会議で今後の相馬市をより良くしていくのであれば、是非こちらの内容に耳を傾けて頂ければと思います。	ご意見をいただいた内容については、基本計画「2-2 安全・安心」「2-2-2 交通安全の普及徹底」及び、「2-3 社会資本整備」「2-3-2 道路交通環境の整備」に記載した内容に基づき、総合的に推進してまいります。